

児童発達支援評価表

記入日 2018年10月12日
 施設名 心愛・心愛つう
 記入者名 職員全体集計

チェック項目		該当に○印を記入ください			改善目標、工夫している点など
		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定員が多い日は、部屋の固定化をせず児童の支援が落ち着けるように、活動の場所が児童の発達支援の効果的な部屋に移動をする等工夫をしている。 ・運動するスペースがもう少し広いと良い ・もう少し広めだとさらに活動しやすい ・利用者が多い時はプレールームを使用 ・広すぎず狭すぎず能力クラス空間をクラスごと作っている
	2 職員の配置数は適切か	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・発達により支援が多く必要なクラスでは、T1,T2の他、より丁寧な人員の配置がなされている。 ・子どもたちに合わせて配置している ・退職した職員の補充をしてほしい
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・つうの通所者ではないが、車いす利用の児童がいる。玄関が階段となっている為、送迎時の車椅子介助に負担と危険を感じる。スロープがあると父兄・スタッフの介助軽減ができる。トイレの段差個所に手すりが無い。 ・クラスの入口に、絵カードが付いている為、初めてでもクラスへの移動が分かりやすくなっている。 ・全体の部屋の配置にトイレのマーク等があれば、よりバリアフリー化される。 ・写真カードや絵カードを使い予定を伝える ・段差があっても転びやすいため、おぼつかない子には職員が手をつなぐ ・伝言板を利用して変更点を記入している
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子供たちの活動に合わせた空間となっているか	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月に新設され、どの部屋も明るい空間をとっている。また各部引き戸は、児童が指を挟まないよう安全に考慮されている。床面は、段差が無くバリアフリーの床暖房となっている、またエアコンが各部屋に設置され通年を適切な環境を確保できている。洗面台は、児童の使いに合わせた3段階の高さや、持ち手の付いたトイレやシャワーも同じスペースに設置され衛生的・機能的である。 ・毎日アルコール消毒を徹底している ・努力はしていますが、月ごとにできていないところは話し合っ努力していくべきかと思っております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善(個人・全体)の目標を意識して取り組む姿勢に個人差がある。PDCAサイクルについての理解が不十分に思われたが研修会に参加により、各自の目的意識が高めている。 ・大きな検討課題や共通事例等には、全体での話し合い時間をもって進められている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向を把握し業務改善につなげているか	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本年保護者様・職員への評価表を実施し業務改善につなげている。 ・行事・各イベント時には、その都度アンケートを取り、保護者様の評価を頂くと共に、意向をまとめ、今後の活動がより喜んでもらえるように活かしている。 ・保護者への評価表を実施したので今後改善につなげていく ・行事の際にはアンケートを取って今後に生かしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後実施予定 ・今後行っていく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1	2	・
	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する研修会は全て職員に伝えている。休日の研修会は、業務時間外の為、希望者参加となっているが、職員に必要な研修会は、業務に支障が無いように参加者を出している。 ・新人研修がない、また新入社員の入社時社内研修(心愛のマニュアル)等の必要性。 ・現在の仕事に直接役立つ研修に参加する。効率よい作業の環境整備を考える。 ・研修のお知らせは回覧するようにしている ・1か月に1~2回程度研修の機会がある ・回数を増やしていきたいです
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から丁寧に聞き取り、子どもの様子(偏食・アレルギー等)を確認して正確な情報をまとめている。 ・児童発達支援計画の作成前に必ずアセスメントを立て見直している。 ・やっっているが内容的には未熟で、努力しなくてはいけないと思っています。
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	2	
	12 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』『発達支援(本人支援及び移行支援)』『家族支援』『地域支援』で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	9	0	2	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	・やっっているが、全員出来ているとは言えない
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・立案した活動案を全体で検討し決めている。 ・特定の人が行いがちなので、みんなが意見を言えるようにしたい
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事、他の幼稚園等の情報、職員の意見等を参考にしながら工夫している。 ・雨の日や行事があつたりすると固定化してしまう為、日によってたまに変えてみる ・様々な人の様々な意見を取り入れたい
	16 子供の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	11	0	0	・
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ミーティングでの情報共有及び支援の注意点等担当者から指示をうけ対応する。 ・朝のミーティングで集計している ・朝の打ち合わせ内で職員間で役割分担をする
	18 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	7	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことへの報告や支援の相談は、できるだけ全体に伝え指示をうけている。 ・ミーティング以外でも打ち合わせ時間を設ける ・グループの職員同士もっと話し合える時間を作りたい
	19 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録後は別の職員がチェックしている ・内容を充実させたい
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の様子や日常生活等で変化があつた時や、長期にわたり目標の変化がない時には担当者に伝えている。 ・内容を充実させたい 	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0	0	・担当の指導員また、良く理解している者が対応されている。
	22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	2	
	23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	3	1	・対象の子がいない
	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	7	3	1	・対象の子がいない
	25	移行支援として保育所や幼稚園、認定子供園、特別支援学校(幼稚園)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	1	
	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	4	・他の支援センターの研修に参加する機会が無い。 ・様々な研修に参加できるようにしたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供たちと活動する機会があるか	5	0	6	・地域における児童との関わりをもっている。 ・イベントなどで子供たちの兄弟と活動する機会はある ・併行通園の子は機会があるがつつのみの子も機会を作っていけるとよいと思う ・心愛つうにいない子と交流の場を作る ・たくさんの人と交流ができるイベントの企画
	29	(自立支援)協議会子供部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	0	1	・地域における児童との関わりをもっている。 ・イベントなどで子供たちの兄弟と活動する機会はある ・併行通園の子は機会があるがつつのみの子も機会を作っていけるとよいと思う ・心愛つうにいない子と交流の場を作る ・たくさんの人と交流ができるイベントの企画 ・理事長以外でも参加するようにする
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	1	・限られた食事・イベント制作時に関わりをもっている ・送迎時に子供の様子を伝えている
31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	9	0	2	・事業所の新しい活動を理解する。 ・始まったばかりなので、今後活発に行っていけるとよいと思う	
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	1	・利用をする前に説明を行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された『児童発達支援計画』を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	1	・毎月面談の中で話し合いをしている
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	1	・面談の際に悩みを聞いている ・毎月1回面談を行っている
	35	父母会の活動を支援したり保護者会を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	10	0	1	・事業所の父母会の関わる情報等を丁寧に把握する ・支援している
	36	子供や保護者からの申し入れについて対応体制を整備するとともに子供や保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しているか	9	0	2	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	11	0	0	・献立表と毎月20日前後で作成し配布している。 ・毎月『ここあつうだより』を発行している ・月1回つうだよりを出している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	0	・個人名のあるメモでも取扱いに注意している。 ・特定がされないよう匿名を使ったり個別ごとのファイルを入れている
	39	障害のある子供や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	・一人一人の障害特性を踏まえ、丁寧に多様な意思疎通をもって関わっている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	11	0	0	・夏祭りにおいて近隣のグループホームの方を招待している。今後も機会があれば、お互いの交流が深められる。 ・夏祭りに地域の老人ホームの方を招待した
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	0
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行っているか	11	0	0	・新しい場所での避難訓練は定期的に行っているが、実際の避難地までは児童の避難訓練はおこなっていない。(場所の確認はしてある)施設敷地内で行っている。 ・今後、台風災害対策の実際に備え、ライフラインの途切れた時の施設のあり方を検討する。 ・毎月避難訓練を行っている
43		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	11	0	0	・事前の保護者様からの確認をしている。薬の飲み忘れ防止や、重要な薬については、薬の指示等書面での依頼が必要(例えば)てんかん薬の預かり保管等 ・対応についても紙面で確認 ・事前に確認や発作のマニュアルが作成している
44		食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	1	・アセスメントを作成時には、医師の検査結果・(指示書等)及び保護者様からの細かな説明・具体的な品名・量等の打ち合わせを行っている。状況の変化があれば随時の連絡を取り合い担当者に報告をし情報共有に務めている。 ・アレルギーがある子の食事とない子の食事をお盆を使って分けている。 ・食物アレルギーのある子どもの食事はアレルギーの食材を除いた食事を作る ・親からの指示によるもので対応している
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	0	・どんな小さなことでもヒヤリハットと確認した時は、速やかに記入した対策を検討し、速やかに周知し再発防止に務める。 ・些細なことでも話をするようにしている
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	・研修参加ができていない。参加者の資料を読み情報の確認をしている。 ・虐待研修に参加している ・周知されるようにしたい
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで児童発達支援計画に記載しているか	7	2	2	・身体拘束はしないが基本ですが、児童が落ち着くまで静かな場所に移動する等の対応をしている。その時は子どもの安全に注意を払い、危険の無いように目を離さず適切な支援を行っている。 ・身体拘束対象の子はいない ・いかなる場合も身体拘束はしていない